

川仲間になろう!!

参加募集!

山も・川も・海も・里山も・田んぼも・街なかも・学校も・・・

第17回「川の日」ワークショップ関東大会 in 前橋

17回目を迎える「川の日」ワークショップ関東大会は、全国の「いい川・いい川づくりワークショップ」とも連携し、川や水辺の活動に取り組む多様な世代、立場のひとびとの、流域や地域を越えた交流や情報共有、とくに、大学生や高校生、中学生など、若い世代の活動を発表、

応援する場としても開催しています。募集により、川や流域だけでなく、里山、用水、池沼、海、田んぼ、水循環など、多様な水辺、テーマの取り組みの発表があります。日頃の活動を発表したい、「いい川」づくりの知恵や力を共有したい、仲間をつくりたい…みんなで作る大会です。ぜひ、ご参加ください!



○日時: 2025年2月22日(土) (11:30開場) 12:45開会 16:45閉会

○会場: 共愛学園前橋国際大学 (1号館2階1201・1202) ※時間は予定です

(群馬県前橋市小屋原町1154-4) *上越新幹線・高崎線/高崎駅で乗り換え、両毛線/駒形駅より徒歩10分
(アクセス) <https://www.kyoai.ac.jp/access/>

◆主な内容(予定)

- **全体発表会** エントリー団体による取り組みの自由な発表(1件につき5分間)をもとに、質疑や意見交換により、たがいの取り組みのいいところを発見、共有します。
- **ポスターセッション** それぞれのとりくみについて、対話、交流しながら深めていきます。
- **講評・表彰** ワークショップの成果を全員で振り返ります。

☆見学会(9:50 JR 前橋駅集合~12:00 頃会場): 前橋のまちなかを流れる広瀬川。疎水百選にも選ばれ、農業、養蚕、文学など、地域と川の深いつながりを訪ねます。【専用バス利用、希望者事前申込、参加費制】

◆募集しています! ※参加申込書は、裏面に

- 市民、住民、研究者、学生、子どもたち、企業、行政など、さまざまな主体、連携による川や水環境に関わる活動、研究等の発表グループ(個人も可)、川だけでなく、源流域、海、用水、池沼、干潟、里山、田んぼ、水循環など、多様な水辺、多様なテーマ、世代の取り組みを募集します!
- 活動・研究の内容などをまとめたポスターセッションへの参加(展示のみの参加も可)
- 大会運営をサポートしてくれる人(準備、当日など、さまざまなサポートがあります)
- 当日は、どなたでも参加できます! ※参加費無料

・主催: 第17回「川の日」ワークショップ関東大会実行委員会

・後援(予定): 国土交通省関東地方整備局 ・協賛: 共愛学園前橋国際大学



- JR 両毛線駒形駅北口下車/徒歩10分
- 北関東自動車道駒形IC /車で約10分
- 国道50号線・小島田交差点より/車で約10分
- バス 共愛学園下車/徒歩約5分



1号館

* 大学は、当日、春休み期間中により、キャンパス内での学食、売店等の営業がありませんので、昼食は各自ご用意ください。※最寄り駅(駒形駅)構内、周辺も飲食店がありません。

○参加申込書 ※2025年2/17まで(発表希望者は2/10まで)にお申し込みください

➢ 以下の事項について、ファクシミリかメールにて事務局までお送りください(大会ホームページよりWord版がダウンロードできます。必要事項のメール送信も可)。発表、ポスターセッション参加希望者には、「発表・応募に関する要項」を送付します。

大会ホームページ http://tamagawa-c.jp/kanto_ws.html →



ふりがな 団体名			
主な活動場所・ 研究フィールド など	* 川や水辺の名称 川(水系) (他に地域名・名称等あれば.....)		
参加者 代表者氏名	ふりがな	参加人数(予定)	名
連絡先 (団体・個人) 公開(可・不可)	〒 電話 URL:	メール	ファクシミリ
参加形態等 ※該当箇所(複 数可)に○印	() 当日参加する ・ () 発表・ポスター展示へ応募 ・ () ポスター展示へ応募 () 運営サポーターとして登録・参加する ・ () 見学会への参加		
発表(ポスター展示含む)のテーマ、キャッチフレーズ、タイトルなど			
主な内容(アピールポイント) ※サポーター申込の方は、参加動機、自己アピールなど			
.			
.			
.			

一般参加自由(事前申込不要)です。どうぞご参加ください!

【お申し込み・問い合わせ 大会事務局】 NPO 法人多摩川センター E-MAIL: tamagawa@tamagawa-c.jp

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14 神宮村 301 電話 03-3479-0166 FAX:03-5772-1608 *担当:事務局 堺

「川の日」ワークショップ・関東大会のあゆみ

日本の各地に“いい川”づくりを促進することを目的に、1998年に(全国)「川の日」ワークショップ(2008年よりいい川・いい川づくりワークショップに名称変更)が開催され、2024年で26回を迎えました。これまでの大会で、約1300件の発表、報告がありました。このワークショップは、住民・市民(団体)、河川管理者、学識者等により実行委員会を組織し、全国の川仲間呼びかけ、“いい川”とは何かを議論、共有するものです。2000年頃より全国各地、そして韓国でも同様のワークショップが開催されるようになり、こうしたワークショップが、さまざまな交流、ネットワークにつながっています。

「川の日」ワークショップ関東大会は、地域ワークショップの一つとして2005年に始まりました。関東地域の多様な世代、立場の川仲間や、大学生、中学・高校生、子どもたちの活動や研究の発表、交流の場とし、取り組みを応援するために開催してきました。日頃の活動を発表したい、“いい川”づくりの情報やエネルギーを共有したい、それぞれの取り組みを応援したい…、川仲間になる、川仲間で作る大会です。

「川の日」ワークショップ関東大会について(大会ホームページ) www.tamagawa-c.jp/kanto_ws.html

●主催:第17回「川の日」ワークショップ関東大会 実行委員会 *順不同・敬称略、予定を含む

・共同代表:礪ちず子(よこはまかわをを考える会)、犬山清史(NPO 法人全国水環境交流会)、大平一典(NPO 法人あらかわ学会)、神谷 博(NPO 法人雨水まちづくりサポート)、佐山公一(みずとみどり研究会)

・実行委員会:伊藤浩子(全国川ごみネットワーク)、上原幸子(NPO 法人砧・多摩川あそび村)、金澤 光(埼玉県魚類研究会)、小林一己(黒目川に親しむ会)、小堀洋美(東京都市大学)、伊納 浩、鈴木 誠、堂本泰章、三井元子(以上、NPO 法人あらかわ学会)、島村雅英(横浜工コップ研究所)、白川直樹(筑波大学)、菅谷輝美(新河岸川水系水環境連絡会)、庄司邦昭(NPO 法人江東区の水辺に親しむ会)、竹内えり子(棟建設技術研究所)、鶴田 舞(一般財団法人国土技術研究センター)、寺村 純(大正大学)、前川智美(共愛学園前橋国際大学)、松井正澄(よこはまかわをを考える会)、山道省三(NPO 法人多摩川センター・NPO 法人全国水環境交流会)ほか

《これまでに協力いただいた関係団体・機関》日本のいい川・いい川づくり研究会、河川協力団体 関東協議会、江戸川大学、東京農業大学、法政大学エコ地域デザインセンター、中央大学、筑波大学、東京都市大学 二子玉川夢キャンパス、立正大学 研究推進・地域連携センター、NPO 法人あらかわ学会、新河岸川水系水環境連絡会、野川流域連絡会、みずとみどり研究会、多摩川流域懇談会、よこはまかわをを考える会、NPO 法人熊谷の環境を考える連絡協議会、NPO 法人全国水環境交流会 他